

# ネパール復興支援の仮面展



ヒマラヤ山脈周辺の民俗仮面が並ぶ会場  
〓岡崎市明大寺町のギャラリー葵丘で

## 岡崎の藤谷さん アジアで収集の33点紹介

ネパールで四月に起きた大地震からの復興を支援する民俗仮面のチャリティー展「ネパールの鎮魂」が十四日、岡崎市明大寺町のギャラリー葵丘で始まった。十八日までで、入場無料。会場に募金箱を置いて義援金を募り、日本ネパール協会を通して現地に送る。日本や中国、アフリカなど世界中の民俗仮面を四十年以上にわたって収集してきた藤谷幸弘さん(モバ)〓岡崎市鴨田町〓が主催。コレクションの中からネパールやチベットなどヒマラヤ山脈周辺の仮面を紹介し、来場者に支

援への協力を求めようと、初めてチャリティー目的の展示会を企画した。

百〓二百年ほど前に制作されたとみられる木製の仮面三十三点が並ぶ。庶民の神に対する祈りや願いを込めて作られ、祭りの踊りなどにも使われたという。藤谷さんは「ヒマラヤの仮面は装飾がシンプルだが重厚」と説明する。表情は優しいものから険しいものまでさまざま。ソウヤトラ、サルなど、現地で神の使いとされる「聖獣」をかたどった作品もある。藤谷さんは「仮面に癒やされてきたため、何かお礼をしたいと思った。少しでもネパールの人たちの助けになれば」と話した。(森田真奈子)